

# 自治体の皆さまへ

## 地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業 研修事業のご案内

### 地域子育て支援拠点等の研修・養成講座

従事者向け

- ◆基礎研修 2日型・1日型
- ◆応用研修 2日型・1日型
- ◆中堅者研修

新任・初任者向け

- ◆初任者研修

オンライン開催のみ

初任者・ボランティア向け

- ◆地域子育て支援士 **二種** 養成講座

子育て支援員研修対応

当法人  
認定書発行

オンライン対応可

さらなるスキルアップには

- ◆地域子育て支援士 **一種** 養成講座

当法人  
認定書発行

### 利用者支援事業の講座

従事者向け

- ◆利用者支援事業等従事者研修  
(旧子育て支援コーディネーター養成講座)

子育て支援員研修対応

オンライン対応可

さらなるスキルアップには

- ◆利用者支援スキルアップ講座

オンライン開催のみ

### 課題に応じた研修

- ◆講義型研修

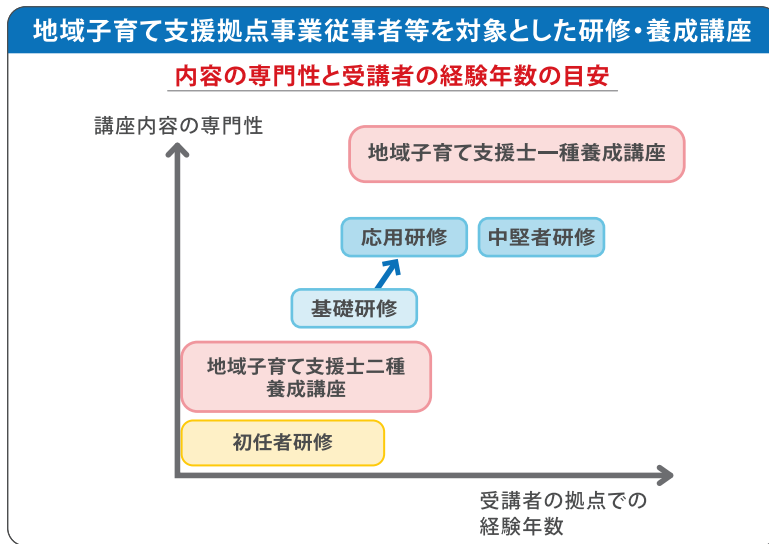
オンライン対応可

# ひろば全協が提供する主な研修・養成講座一覧

対象事業	研修・講座名	対象					所要時間	受講人数	研修費 (税込・1名)	子育て 支援員 研修に対応	オンライン 対応	当法人発行の 認定証・修了
		学生	ボラン ティア	実践者	専門職	行政 職員						
地域子育て支援拠点事業	基礎研修(2日型)			○			1日目:6.5時間 2日目:3.0時間	18名~48名	要見積			修了証書
	基礎研修(1日型)			○			6.5時間	18名~48名	要見積			修了証書
	応用研修(2日型)			○			1日目:6.5時間 2日目:3.0時間	18名~48名	要見積			修了証書
	応用研修(1日型)			○			6.5時間	18名~48名	要見積			修了証書
	中堅者研修			○			7時間	18名~48名	要見積			
	地域子育て支援士二種養成講座	○	○	○	○	○	7時間	30名~60名	9,900円※1	○	○	認定証
	地域子育て支援士一種養成講座			○	○	○	7時間×3日間	当法人主催講座に参加	50,600円			認定証
	初任者研修(オンライン開催)	○	○	○	○	○	2時間	当法人主催講座に参加	3,300円			
支援事業利用者	講義型研修	○	○	○	○	○	2~3時間	応相談	要見積		○	
	利用者支援事業等従事者研修			○			9時間	15名~50名	26,400円※1	○	○	修了証書
	利用者支援スキルアップ講座(オンライン開催)			○			3時間	当法人主催講座に参加	12,100円※1		○	

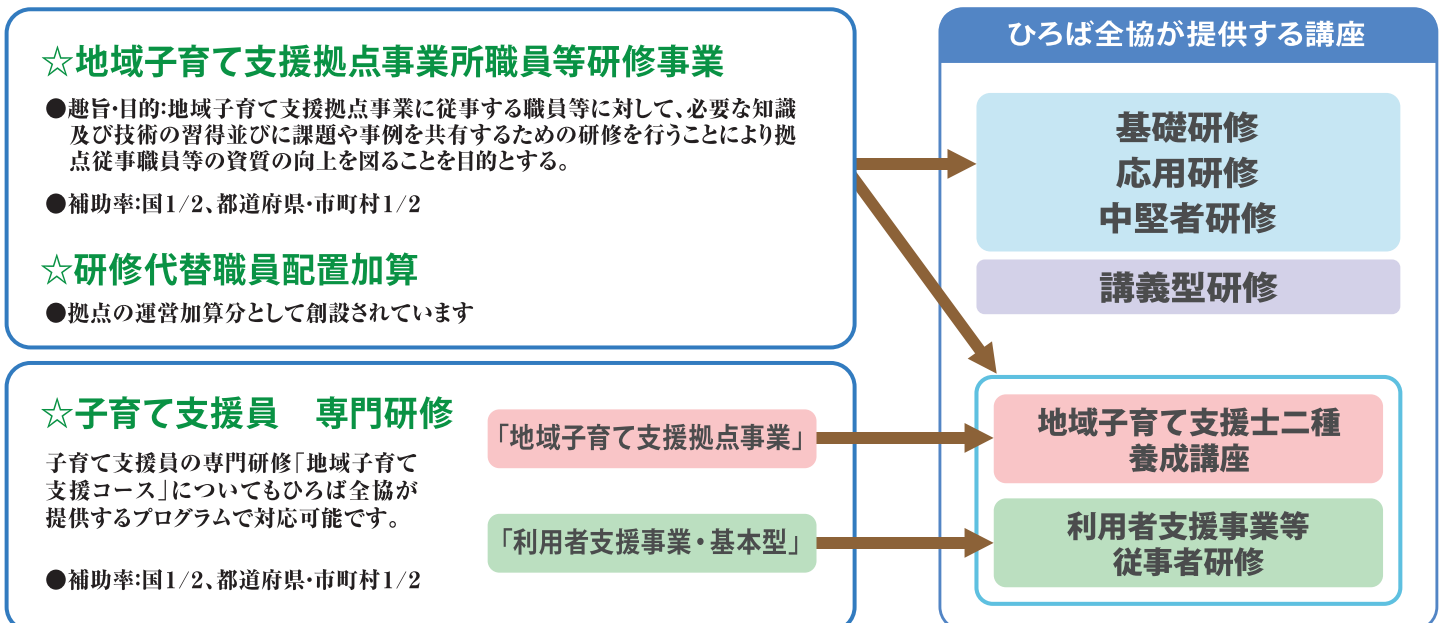
研修開催をご希望の場合は、お見積りをいたしますのでひろば全協事務局へご連絡ください。

※1：子育て支援員研修としてお申込みの場合は、管理費15%がかかります。



## 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費をご活用ください

地域子育て支援拠点の職員の資質向上のために、国の「子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費の国庫補助」における「地域子育て支援拠点事業所職員等研修事業(専門的研修)」の活用をご検討ください。



# 子育て支援員の専門研修としてご活用ください

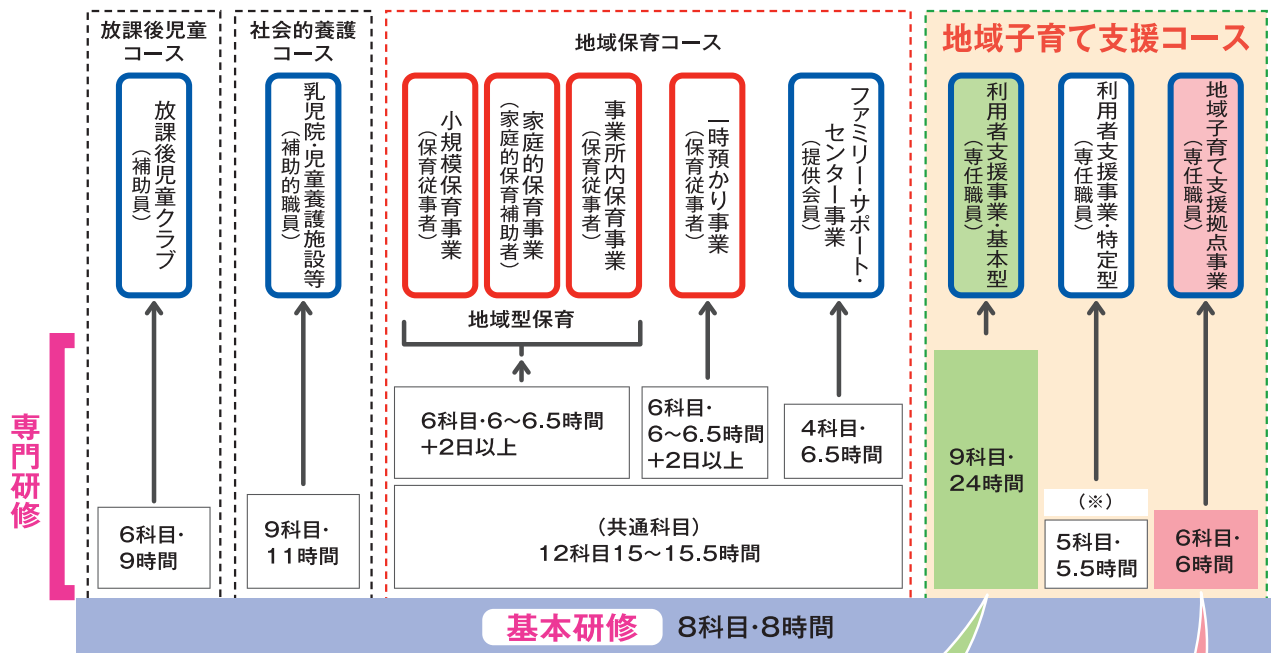
子育て支援員研修は、都道府県や市町村が実施する全国共通の研修制度です。「基本研修」と各事業の特性に応じた「専門研修」によって構成されています。

「利用者支援事業等従事者研修」は利用者支援事業（基本型）の専門研修として、「地域子育て支援士二種養成講座」は地域子育て支援拠点事業の専門研修として、国が示す「シラバス」に適合するプログラムとなっております。

自治体主催の子育て支援員の「専門研修」としてぜひご活用ください。

尚、子育て支援員研修として実施する場合には、事前に自治体とひろば全協による契約が必要です。

## 子育て支援員研修の体系



※赤枠は、研修が従事要件となる事業。青枠は、研修の受講が推奨される事業。

### 利用者支援事業（基本型）の専門研修として

#### 利用者支援事業等従事者研修

##### 【実施実績】

- 自治体主催
  - 山梨県 ■大分県 ■愛知県岡崎市 ■奈良県奈良市 ■高知県四万十市
- ひろば全協主催の講座を活用
  - 青森県青森市 ■青森県五所川原市 ■青森県弘前市 ■宮城県仙台市
  - 東京都新宿区 ■千葉県柏市 ■千葉県鎌ヶ谷市 ■山梨県上野原市
  - 山梨県中央市 ■山梨県西桂町 ■山梨県韮崎市 ■山梨県富士吉田市
  - 三重県桑名市 ■三重県四日市市 ■大阪府泉大津市 ■大阪府河内長野市
  - 大阪府泉南市 ■大阪府田尻町 ■高知県 ■熊本県山鹿市
  - 長崎県諫早市 ■新潟県見附市

### 地域子育て支援拠点事業の専門研修として

#### 地域子育て支援士 二種 養成講座

##### 【実施実績】

- 大分県 ■千葉県柏市
- 東京都文京区 ■愛知県岡崎市
- 愛知県名古屋市長 ■大阪府交野市

## 子育て支援員研修の開催について

主催	受講人数	契約書	管理費
自治体	地域子育て支援士二種養成講座…30名以上 利用者支援事業等従事者研修…15名以上	要	15%
ひろば全協 (自治体からの申込み可)	地域子育て支援士二種養成講座…30名未満 利用者支援事業等従事者研修…15名未満	要	15%

※国へ子育て支援員研修の補助を申請する場合は、事前に自治体とひろば全協で共同実施の取り交わしが必要です

# 地域子育て支援拠点等の従事者向けの研修

## 基礎研修

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会が研究・開発した研修プログラムを使用し、地域子育て支援拠点事業の基礎知識の習得や、グループワークを通して日ごろの活動をふりかえっていきます。

### ◆参加対象

- ・地域子育て支援拠点事業等、乳幼児とその保護者が交流する場の現任スタッフで、両日のプログラムに参加可能な方

**プログラム** **基礎研修2日型**


**1日目** **講義とグループワーク**  
所要時間：約6.5時間

↓ 約1か月後

**2日目** **グループワーク中心のフォローアップ**  
1か月間の実践のふりかえりの中で自分自身の変化に気づき、日頃の活動を評価することで、研修内容をより深く定着させます。  
所要時間：約3時間

↓

**修了証書発行**  
※応用研修の受講が可能となります。



\*御要望に応じて1日型も実施可能です。

**基礎研修1日型**

**講義とグループワーク**  
所要時間：約6.5時間

↓ 約1か月後

**ふりかえりレポート提出**  
1か月の実践を行い、ふりかえりレポートを提出します。

↓

**修了証書発行**  
※応用研修の受講が可能となります。

### 「基礎研修」受講者アンケートより抜粋

- ・ひろばに來にくい人について、じっくり考えることができた。
- ・地域資源の再確認と連携の大切さを学んだ。自分のひろばの特徴を知り、長所は伸ばしていきたい。
- ・自分の考え方や行動パターンを再認識できた。ひとりよがりにならないよう心がけていきたい。
- ・「親同士の関係性は、スタッフの雰囲気作りにかかっている」ということを学んだ。

講師とファシリテーター数名を派遣します。

1グループ(4~6名)につき、ファシリテーターを1名派遣いたします。

基礎研修から約一年後 **さらなるステップアップのために**

## 応用研修

「応用研修」は、「基礎研修」の修了約1年後に実施します。グループワークを通して日ごろの活動をふりかえりながらより実践的な支援を学ぶことができます。

### ◆参加対象

- ・基礎研修の修了証書をお持ちの方
- ・地域子育て支援拠点事業等、乳幼児とその保護者が交流する場の現任スタッフで、両日のプログラムに参加可能な方

**プログラム** **応用研修2日型**


**1日目** **講義とグループワーク**  
所要時間：約6.5時間

↓ 約1か月後

**2日目** **グループワーク中心のフォローアップ**  
1か月間の実践のふりかえりの中で自分自身の変化に気づき、利用者の背景を理解しながら実践の課題を出し合い、解決策と一緒に考えます。  
所要時間：約3時間

↓

**修了証書発行**



\*御要望に応じて1日型も実施可能です。

**応用研修1日型**

**講義とグループワーク**  
所要時間：約6.5時間

↓ 約1か月後

**ふりかえりレポート提出**  
1か月の実践を行い、ふりかえりレポートを提出します。

↓

**修了証書発行**

### 「基礎研修」受講者アンケートより抜粋

- ・支援のために地域とつながっていくことの大切さやその方法を色々な角度から学んだ。
- ・利用者同士をつなぐためには、親や子どもとスタッフの関係性が大切であることがわかった。
- ・気になる親子には家族関係を尊重して関わっていくことや、スタッフの視点を変えると親子への関わり方が変わることを学んだ。

講師とファシリテーター数名を派遣します。

1グループ(4~6名)につき、ファシリテーターを1名派遣いたします。

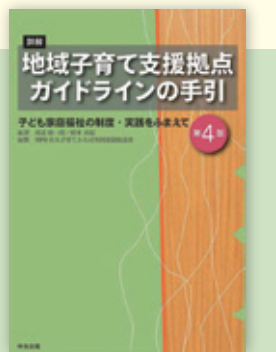
## 研修テキスト

詳解

### 『地域子育て支援拠点ガイドラインの手引 第4版』

子どもの家庭福祉の制度・実践をふまえて

- 1章 子ども家庭福祉と子育て支援
- 2章 子育て支援における基本的視点
- 3章 地域子育て支援拠点
- 4章 地域子育て支援拠点における課題
- 5章 実践例



### ◆編著(敬称略)

渡辺 顕一郎(日本福祉大学 教授)  
橋本 真紀(関西学院大学 教授)

### ◆執筆者(五十音順 敬称略)

大豆 生田啓友(玉川大学 教授)  
奥山 千鶴子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長)  
金山 美和子(長野県立大学 教授)  
坂本 純子(NPO法人新座子育てネットワーク 代表理事)  
新澤 拓治(社会福祉法人雲柱社 施設長)  
橋本 真紀(関西学院大学 教授)  
渡辺 顕一郎(日本福祉大学 教授)

### ◆編集

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

### ◆発行

中央法規出版株式会社

### ◆価格

本体:2,420円(税込)

# 中堅者研修

「中堅者研修」は地域子育て支援拠点事業の業務経験年数がある程度ある方を対象に、スタッフの質の向上や地域における子育て支援に関する専門的知識や技術等の習得を目的として開発したプログラムです。基礎研修・応用研修を受講していない方も受講できます。

### ◆参加対象

・地域子育て支援拠点事業等、乳幼児とその保護者が交流する場の中堅の現任スタッフ

### プログラム

## 中堅者研修1日型

事前課題への取り組み



講義とグループワーク

所要時間：約7時間

※中堅者研修のプログラムは「平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業（厚生労働省） 地域子育て支援拠点事業に従事する職員の資質向上研修に関する調査研究（主任研究員：日本福祉大学 教授 渡辺頭一郎）」を基に開発しました。

	科目	研修方法
1	子ども家庭福祉分野の政策・制度の動向（拠点事業の制度上の位置づけや役割を含む）	講義
2	子育て家庭の理解と多様なニーズへの対応（子どもの虐待・貧困・障害等を含む）	講義と演習
3	地域課題の把握とそれに対応するプログラムづくり	講義と演習
4	相談援助を行うための基本的知識と技術	講義と演習
5	地域連携による困難事例への対応	事例検討

## 講師とファシリテーター数名を派遣します。

1グループ（4～6名）につき、ファシリテーターを1名派遣いたします。

## 講師について

地域子育て支援拠点事業に詳しい有識者、もしくは実践団体の代表者が担当します。



## ファシリテーターとは？

研修を進める上で大事な役割を果たすのがファシリテーターです。各グループにファシリテーターがつき、グループワークにおいて進行役をつとめるとともに、グループの参加者全員が研修の成果を最大限に引き出せるよう配慮し、課題を深めていきます。経験豊かな全国の実践者が、専門的なファシリテーター養成講座を事前を受講した上でファシリテーターとして活躍しています。

### ◆各都道府県のファシリテーター数

北海道	2	神奈川県	10	徳島県	2
秋田県	1	山梨県	4	福岡県	3
岩手県	1	岐阜県	2	熊本県	1
宮城県	1	福井県	1	大分県	2
山形県	3	大阪府	3		
福島県	1	京都府	1		
新潟県	1	兵庫県	1		
埼玉県	4	岡山県	2		
千葉県	4	山口県	2		
東京都	8	香川県	5		



# 地域子育て支援拠点等に関わる人のための認定講座

地域子育て支援拠点等の初心者・ボランティア向け

## 地域子育て支援士 **二種** 養成講座

オンライン  
対応可

子育て支援員の専門研修としても活用できます。

### 「地域子育て支援士二種」とは

「地域子育て支援士二種」は、乳幼児とその保護者が集う「地域子育て支援拠点」等に関わる支援者やボランティアなどに求められる基礎的な知識・技術を習得したことをひろば全協が証明する認定資格です。  
また、この資格は、地域子育て支援拠点に関わる初心者だけでなく、ボランティアなどの地域の活動者に対する「入門編」としても位置づけています。

#### ◆受講要件：以下のいずれかに該当する方

- ① 地域子育て支援拠点等における活動者（有給の職員だけでなく継続的なボランティアも含む）
- ② 大学・短大・専門学校等において保育士・社会福祉士・保健師いずれかの養成課程に在籍する学生  
その他、心理学を修める大学の学部・学科に在籍する学生
- ③ 保育士・社会福祉士・保健師のいずれかの資格取得者
- ④ 地域子育て支援拠点等におけるボランティア経験を有する者

- ◆所要時間：7時間
- ◆受講料：9,900円/1名（税込）
- ◆最少催行人員：30名

### 地域子育て支援士二種 認定の流れ



◆2023年度末 認定者：5,022名



### 地域子育て支援士二種養成講座の開催について

開催方式	主催	受講人数	契約書	管理費
地域子育て支援士二種養成講座として	自治体	30名以上	要	なし
子育て支援員専門研修 地域子育て支援コース 地域子育て支援拠点事業として	自治体	30名以上	要	15%
	ひろば全協 (自治体からの申し込み可)	30名未満	※要	15%

※国へ子育て支援員研修の補助を申請する場合は、事前に自治体とひろば全協で共同実施の取り交わしが必要です

### ◆開発チームよりメッセージ

主任研究員 渡辺顕一郎先生（日本福祉大学教授）

資格とは、専門的な仕事に従事するにあたってその仕事に必要な倫理・知識・技術などを有していることを証明するものです。また、資格制度があることにより、専門職としての社会的価値が高まり、有資格者が自信や責任感をより一層もって仕事に取り組める側面もあります。（中略）

地域子育て支援士を「木」にたとえるなら、「二種」資格は原理・原則を柱とする「幹」の部分、「一種」資格はその先に覆い茂る「枝葉」のようにイメージできます。支援において大切にすべき理念や原理・原則を柱とし、より詳細な専門技術を身につけることで、専門職という「木」が形作られていくのです。

しっかりと大地に根を張り、枝葉を広く茂らせて、その木陰で疲れた人々を優しく癒し続ける大木になるかどうかは、資格者養成に携わる研究者の力量とともに、資格を求める支援者の方々一人ひとりの熱意や絶え間ない努力も必要とします。ともに力を携えあいながら、地域子育て支援の質的向上を目指したいと切に願っています。

※「地域子育て支援士」はNPO法人子育てひろば全国連絡協議会の登録商標です（商標番号第5708302号）

さらなるスキルアップには 地域子育て支援士一種養成講座は、当法人主催の研修に貴自治体からのお申込みでご参加いただけます。

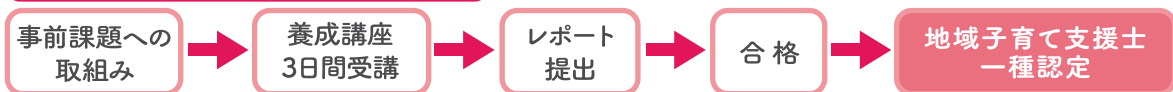
## 地域子育て支援士 **一種** 養成講座

「地域子育て支援士一種」は、乳幼児とその保護者が集う「地域子育て支援拠点」等において活動する者の実践経験をふまえ、理論的・体系的に視座を整理、獲得する機会を提供すると共に、一定の養成教育を受けたことをひろば全協が認定するものです。

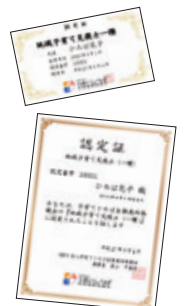
◆受講要件：HPをご確認ください。

- ◆所要時間：7時間×3日間
- ◆受講料：50,600円/1名（税込）
- ◆最少催行人員：18名

### 地域子育て支援士一種 認定の流れ



◆2020年度末 認定者：153名



# 利用者支援事業等従事者研修

オンライン  
対応可

(旧子育て支援コーディネーター養成講座)

子育て支援員の専門研修としても活用できます

利用者支援事業\*の従事者には、利用者支援専門員として研修の受講が求められています。そこで、ひろば全協では、地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、個別の家庭状況を踏まえた支援のコーディネートをする方を対象とする「利用者支援事業等従事者研修」をご提供します。ぜひ、開催をご検討ください。

## 「利用者支援事業」とは

子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う事業。

◆**受講要件**： 地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験者、および、それらに準ずる者

◆**所要時間**：9時間

※開始・終了時間、休憩時間等を考慮の上、2日間に分けても開催できます。

◆**受講料**：26,400円/1名(税込)

◆**受講人数**：15~50名



## 養成講座の流れ

事前課題への  
取り組み



養成講座受講



修了証書

◆2023年度末の修了者：1,115名

## 利用者支援事業等従事者研修の開催について

開催方式	主催	受講人数	契約書	管理費
利用者支援事業等従事者研修として	自治体	15名以上	要	なし
子育て支援員専門研修 地域子育て支援コース 利用者支援事業・基本型として	自治体	15名以上	要	15%
	ひろば全協 (自治体からの申し込み可)	15名未満	※要	15%

※国へ子育て支援員研修の補助を申請する場合は、事前に自治体とひろば全協で共同実施の取り交わしが必要です

さらなるスキルアップには

利用者支援スキルアップ講座は、当法人主催の研修に貴自治体からのお申込みでご参加いただけます。

## 利用者支援スキルアップ講座(オンライン開催)

利用者支援事業を実践する中で、さらに支援のスキルを高めることを目的とし、対人援助等、関連する各領域を深める講座です。

◆**受講要件**：「利用者支援事業等従事者研修」の修了者または利用者支援事業現任者およびそれらに準ずる者

◆**所要時間**：3時間

◆**テーマ例**：「記録のあり方」「援助関係の形成」「ピア・スーパービジョン」  
「利用者支援事業における対人援助スキルアップ」

◆**受講料**：12,100円/1名(税込)

## 初任者研修 (オンライン開催)

当法人主催の研修に貴自治体からのお申込みでご参加いただけます。

実践現場の初任者がまずは押さえておきたい基礎知識を2時間にまとめたオンライン研修です。『地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」』を軸に、子育ての現状や行政制度、地域子育て支援拠点事業の意義や役割、基本的な支援のあり方、守秘義務などのポイントを初任者がオンラインで学べる機会を提供いたします。

- ◆対象者 地域子育て支援拠点等の初任者、ボランティアスタッフなど
- ◆受講要件 PC等(1名1台)で顔を表示して受講できること
- ◆所要時間 120分
- ◆受講料 3,300円(税込/1名)
- ◆開催方法 オンライン会議ツールZoomによる講義と個人ワーク
- ◆テキスト 地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」

地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」	
2009年度確定 / 2017年度改訂	
講義Ⅰ	01 地域子育て支援拠点とは 02 基本的な考え方 03 支援者の役割
講義Ⅱ	04 子どもの遊びと環境づくり 05 親との関係性
講義Ⅲ	06 受容と自己決定 07 守秘義務 08 運営管理と活動の改善 09 職員同士の連携と研修の機会



### 受講者アンケートより

- ・日頃、自分が心がけている事などと照らし合わせ、再確認が出来た。ガイドラインを横に置いて、時々確認し今後に活かしていきたい。
- ・普段何気なく行っていることにどのような意図やねらいがあるのか改めて知ることができたので、より効果的な支援ができるよう努めたい。
- ・事前資料もあり分かりやすく、全国からの受講者の意見を聞いてためになった。



## 課題に応じた研修

### 講義型研修 ～講師を派遣し、地域子育て支援拠点について講義を行います～

オンライン  
対応可

#### 講義型研修とは

- ・講義テーマは、ご要望に応じて対応いたします。
- ・地域子育て支援拠点の従事者だけでなく、自治体職員や地域の様々な子育て支援に関わられている方々も一緒に、地域子育て支援について学ぶことができる研修です。
- ・地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」(改訂版)などを参考にした講義も行います。

- (例) ・リーダー職員向け研修  
 ・プレママ・プレパパ向け講座開催のための研修  
 ・オンライン子育て支援入門講座  
 ・予防型プログラム研修

#### ◆参加対象

- ・地域子育て支援拠点事業等、乳幼児とその保護者が交流する場の現任スタッフ、自治体職員、子育て支援に関心のある方など



地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」



これからママ・パパになる人のために地域子育て支援拠点ができること



オンライン子育て支援のヒント集



予防型プログラム(講座・講習)

